

平成28年度事業援助を決定

公益財団法人電気通信普及財団（理事長 中山 進）は、本日開催した理事会において、「平成28年度事業援助」の公募に対し、応募があった案件について、当財団審査委員会の審査結果を踏まえ、別紙のとおり援助を決定いたしました。

概要は下記のとおりです。

記

平成28年度事業援助

(1) シンポジウム・セミナー等	13件	14,200	千円
(2) 長期海外研究	1件	31,400	USドル
(3) 特別講義開設（平成29年度開講分）	5件	4,188	千円

(参考)

1 シンポジウム・セミナー等事業援助

学術に有意義なシンポジウム・セミナー等を開催される場合、この活動に対して援助するもの。

2 長期海外研究援助

情報通信分野の若手研究者が海外の大学、又は研究機関の招聘を受けて研究留学する場合に、滞在中に研究を遂行する上で必要な経費と旅費の一部を援助するもの

3 特別講義開設援助

大学における、社会科学系、システム技術系を問わず、教育的価値の高い情報通信に関する新たな講座の立ち上げを援助するもの

連絡先

公益財団法人電気通信普及財団事業部

担当： 事業部長 中川 一郎

電話：03-3580-3414

URL：<http://www.taf.or.jp>

1. シンポジウム・セミナー開催、普及・振興事業への援助

(金額単位:千円)

No.	申込者	会議、事業名	援助金額
1	SPAWC2017 組織委員会 組織委員長 安達 文幸 (東北大学 特任教授)	第18回IEEE ワイヤレス通信における先進的信号処理に関する国際ワークショップ (SPAWC 2017)	1,200
2	第1回国際通信学会東アジア国際会議 京都大会 実行委員会 実行委員長 辻 正次 (神戸国際大学 教授)	第1回国際通信学会東アジア国際会議 京都大会 (ITS Kyoto 2017)	1,200
3	特定非営利活動法人 リンクト・オープン・データ・イニシアティブ 理事長 武田 英明 (国立情報学研究所 教授)	第15回セマンティック・ウェブ国際会議 (ISWC2016)	1,500
4	エンタテインメントコンピューティング技術の進展にかかる国際会議 実行委員会 実行委員長 倉本 到 (京都工芸繊維大学 准教授)	第13回エンタテインメントコンピューティング技術の進展に関する国際会議	1,000
5	第13回モバイル・ユビキタスシステムに関する国際会議 実行委員長 重野 寛 (慶應義塾大学 教授)	第13回モバイル・ユビキタスシステムに関する国際会議 (MobiQuitous 2016)	1,500
6	ICDAR2017 組織委員会 黄瀬 浩一 (大阪府立大学 教授)	第14回文書解析と認識に関する国際会議 (ICDAR2017)	1,500
7	A-SSCC 2016 実行委員会 実行委員長 増淵 美生 (株式会社 半導体研究開発センター)	IEEE アジア地区固体回路会議2016 セッション:RF及び有線通信・ミクストシグナル回路 (A-SSCC 2016)	1,000
8	ICFEM 2016 運営委員会 運営委員長 劉 少英 (法政大学 教授)	第18回形式工学手法に関する国際会議 (ICFEM 2016)	1,000
9	第9回SPINTECH 実行委員会 実行委員長 新田 淳作 (東北大学 教授)	第9回スピン技術 スクール及び国際会議	1,500
10	ASP-DAC 2017 実行委員会 高木 直史 (京都大学 教授)	アジア南太平洋設計自動化会議 2017 (ASP-DAC 2017)	1,000
11	位相ベース可視化国際ワークショップ2017 実行委員長 藤代 一成 (慶應義塾大学 教授)	位相ベース可視化国際ワークショップ2017 (TopoInVis2017)	550
12	ISPlasma 2017 組織委員会 委員長 中村 圭二 (中部大学 教授)	第9回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第10回プラズマナノ科学技術国際会議 (ISPlasma2017/IC-PLANTS2017)	1,000
13	IEEE広島支部 支部長 船曳 信生 (岡山大学 教授)	第18回IEEE 広島支部学生シンポジウム	250
	合計	13会議	14,200

2. 長期海外研究援助

No.	申込者	研究テーマ、受入れ機関等	援助金額 (US\$)
1	日本学術振興会/京都大学 特別研究員(PD) 中村 栄太	統計的音楽理論と演奏モデルとベイズ文法推論の融合に基づく自動編曲手法の確立 (英国・Queen Mary University of London)	31,400

3. 平成28年度(29年度開講分) 特別講義開設援助

(金額単位:千円)

区分	大学名	特別講義名	援助金額
新規	信州大学	情報通信技術の発展と法制度	1,000
新規	情報セキュリティ大学院大学	サイバー・インテリジェンス	964
新規	摂南大学	IoT時代の経営情報学	354
継続	岡山大学大学院 (自然科学研究科)	ICT活用ビジネスマインド養成講座	870
継続	大阪大学 (知的財産センター)	高度情報通信社会における知的財産戦略論	1,000
	合計	5講義	4,188